

安全運転

ほっと NEWS
2013年9月号

今月のクイズ

警察庁のデータによると、平成24年中に原動機付自転車(原付)乗車中の死者数が最も多かったのは、次のどの年代でしょうか？ (答えは裏面)

- ①16～24歳
- ②25～64歳
- ③65歳以上



TOKIO MARINE
NICHIDO

原付で交差点を通るときの注意点



小回りがきく原動機付自転車(原付)は、買い物や通勤などにとっても便利な乗り物です。しかし、身体を守るものがヘルメット以外に無いため重大な事故につながりやすく、平成24年の原付乗車中の死傷者は55,000人を超えています。

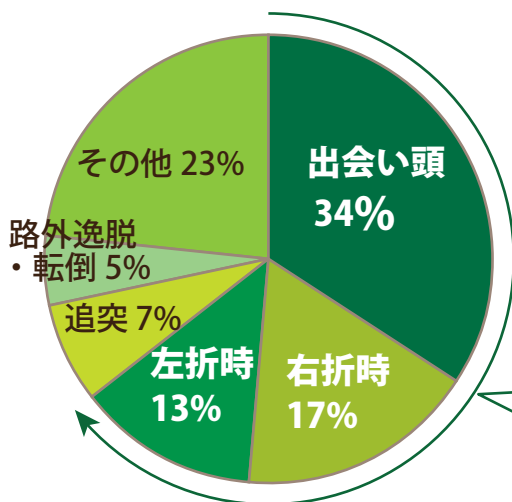
今月は、原付の事故がどこで、どのような原因で起きているのかをふまえ、安全に運転するためのポイントをみてみましょう。

原付は自動車に見落とされ、重大事故になる危険性があります

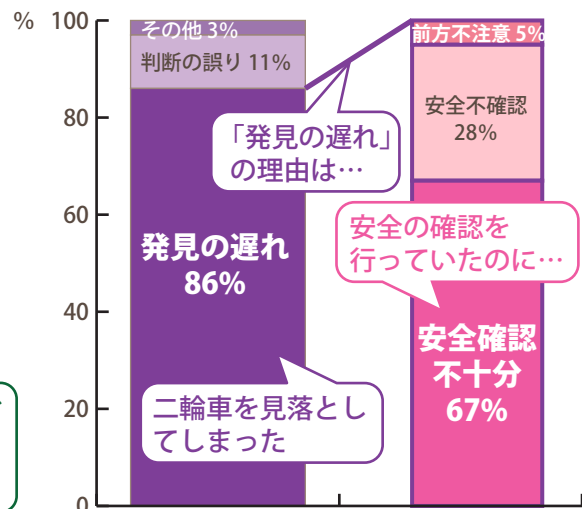
警察庁のデータによると、平成24年中の原付乗車中による死者は328人で、自動車乗車中の死者1,417人の約4分の1です。しかし、致死率をみると原付乗車中は0.59%で、自動車乗車中の致死率0.27%より約2倍も高くなっています。衝撃から身体を守る車体やシートベルトが無い原付は、事故を起こすと死につながる危険性が高いことがわかります。

次に、どのようにして事故が起きたのかをみると、出会い頭や右・左折時など交差点で発生している事故が約6割(図1)を占めています。事故相手の約9割を占めている四輪車側から、事故の要因(図2)をみてみると、「発見の遅れ」が事故を招いている主な要因で、その理由として「安全確認不十分」が多くなっています。「交差点で安全確認は行ったが、二輪車を見落とししてしまった」ことにより、重大な事故に遭うケースが多くなっているようです。原付ドライバーは、交差点で「相手側は自分の存在に気付いていないかもしれない」と疑い、十分注意して通過する必要があります。

では、具体的に交差点を安全に通過するためにはどのようにしたらよいでしょうか。



(図1) 原付の死傷事故(平成22年)



(図2) 被害者が二輪車(原付含む)だった場合の四輪車側の人的事故要因(出会い頭と右折時の事故のみ)

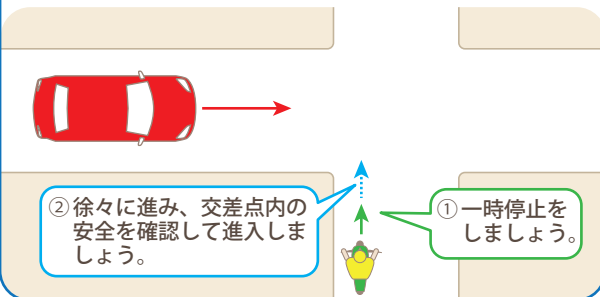
交差点では安全確認を確実にし、十分に注意して通過しましょう

原付で交差点を進行するときは交通ルールを守り、十分に注意をはらって通過することが非常に大切です。ここでは、交差点で起こりうる危険と、通過するための主なポイントを確認しましょう。

信号の無い交差点に進入するとき…

「自分の車線が優先道路だから」と考え、信号の無い交差点で一時停止や徐行を怠ると、出会い頭に自動車や歩行者などと衝突する危険性が高くなります。

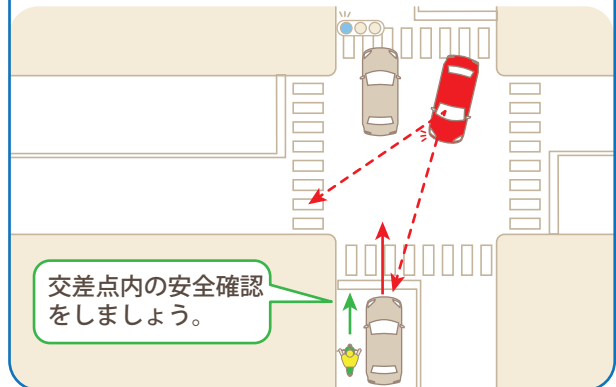
たとえ、標識が無い場合でも安全確認を行うために一時停止を実行しましょう。交差する相手側に存在を示すように徐々に進み、安全を十分に確認してから進入しましょう。



直進するとき…

対向車のドライバーが、自分の存在に気づかず右折してくる危険性があります。

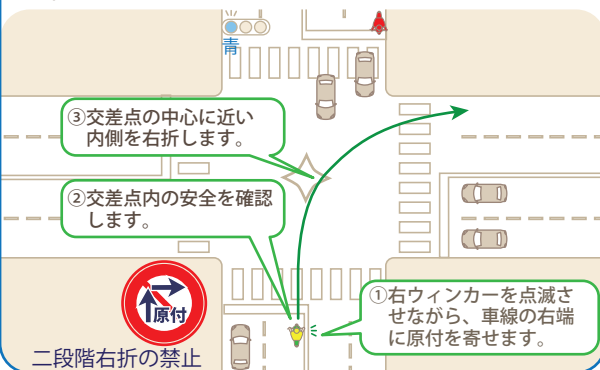
ドライバーがどちらの方向を見ているか、自動車が動きそうかどうかを確認し、交差点を通過しましょう。



右折するとき…<片側2車線以下>

片側2車線以下の道路、もしくは左下の標識がある場合は、交差点の中心に近い内側を右折します。

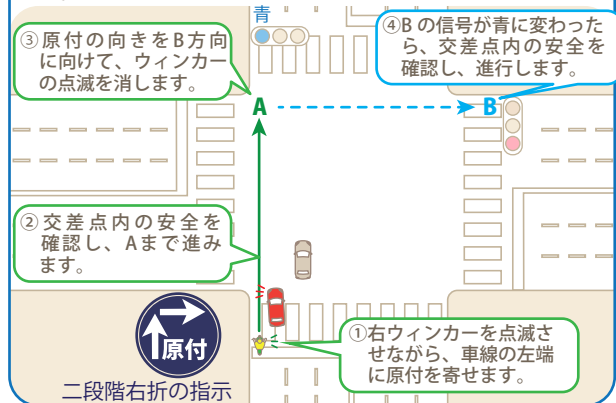
また、対向車線の自動車などの陰から、二輪車が直進してくる危険性があります。あせらずに安全確認をしながら右折しましょう。



右折するとき…<片側3車線以上>

片側3車線以上の道路、もしくは左下の標識がある場合は、二段階右折をします。

①の地点で左折する自動車が、原付のウィンカーに気付かず巻き込む危険性があります。左折する自動車に十分注意しましょう。



原付で交差点に差しかけたときは、「自動車が自分の存在に気付いていないかもしれない」と疑いましょう。場面に応じた安全確認を確実にし、十分に注意して通過しましょう。

今月のクイズの答え

③65歳以上 (出典:警察庁「平成24年中の交通死亡事故の特徴及び道路交通法違反取締り状況について」)

ご用命・ご相談は…

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です。

保険システム株式会社
INSURANCE SYSTEM CO.,LTD

〒950-0087
新潟市中央区東大通2-4-1 新潟パナソニックビル6F
TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921
E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp
URL http://www.hokensystem.co.jp



東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内 1-2-1

TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590

URL http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/

担当営業課